

金額の再精査

パターン毎に再精査を実施し、以下のとおり金額に変更があったもの。

		パターン①		パターン②		パターン③	
		現行の全国交通系ICカードを更新		バス・電鉄電車と統一 ※当初打ち出した方向性		全国交通系ICカード簡易型端末導入 ＋ バス・電鉄電車と統一	
内容		端末	決済手段	端末	決済手段	端末	決済手段
			 全国交通系 ICカード  くまモンのICカード		 くまモンのICカード		 全国交通系 ICカード
			 タッチ決済  QRコード		 タッチ決済  QRコード		 タッチ決済  QRコード
更新費用 （税抜）	再精査前の 金額	約 2 億円		約 1. 1 億円		約 1. 9 億円 （パターン②＋約 0. 8 億円）	
	再精査後の 金額	約 1. 5 億円		約 1. 4 億円		約 2. 2 億円	
増減理由		・機器構成を見直し、一部機器を安価なものへ変更 ・機器構成見直しに伴う作業工数減少 など		・くまモンのICカードで定期券を実装する費用 分の増額		・パターン②に同じ	
国補助 （補助率： 1 ／ 3）		対象 （ただし、確実に受給できるかは未定）					

✓パターン①とパターン②の金額差が縮小
✓パターン①とパターン③の金額差は逆転

2 アンケート調査結果

- ✓ 8～9月に公共交通推進課が実施したアンケート調査について、市電に関する部分の詳細を報告するもの
- ✓ また、交通局内にて、乗務員など営業所の職員に対してもアンケート調査を実施

(1) 利用者アンケート【回答受付数：2,606件（外国人は除く）】

① 熊本市電の決済手段として、全国交通系ICカードが廃止されると困るか？

■ 全体

n = 2606

「困る」が計**56.3%**

■ 主に利用する交通機関で市電を選択された方

n = 745

「困る」が計**67.6%**

■ 主に利用する交通機関でバス等を選択された方

n = 1861

「困る」が計**51.7%**

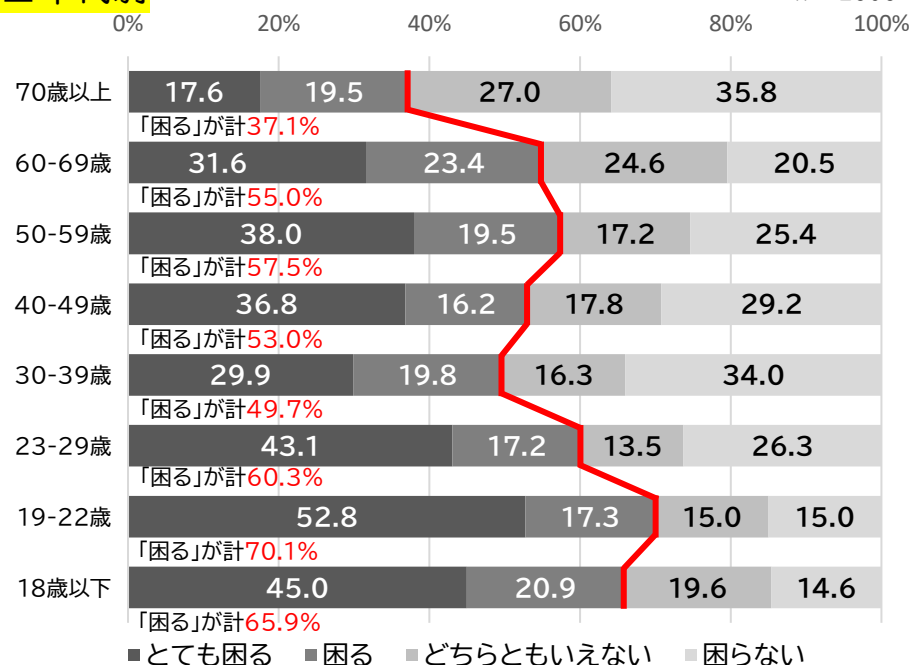
■ 県外居住の方

n = 209

「困る」が計**84.2%**

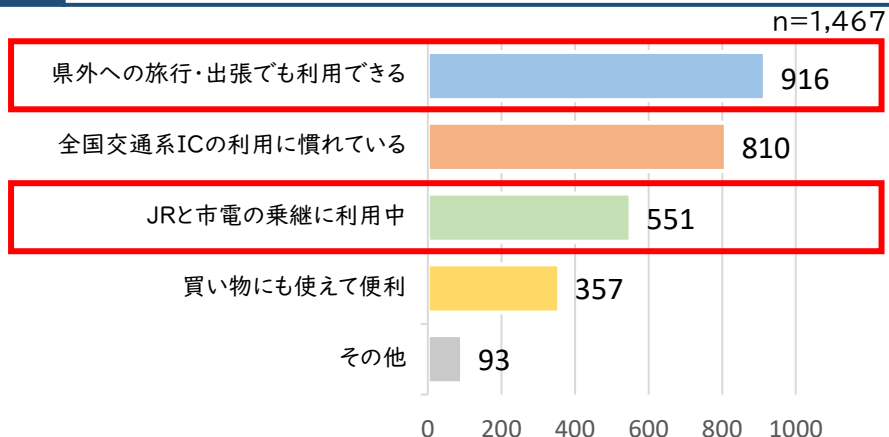
■ 年代別

n = 2606



- ✓ 半数以上が「困る」と回答
- ✓ 市電利用者に限定すると「困る」の回答が67.6%、県外居住者に限定すると80%以上の方が「困る」と回答
- ✓ バス利用者に限定しても、「困る」が半数以上
- ✓ 年代別で見ると、多くの年代で「困る」が半数以上であり、特に若者世代（22歳以下）は「困る」割合が多い
- ✓ 一方で、おでかけICカードの利用が多い70歳以上及び30～39歳は「困る」が半数以下となった

② 熊本市電で全国交通系ICカードが廃止されると困る理由は？（複数選択可）

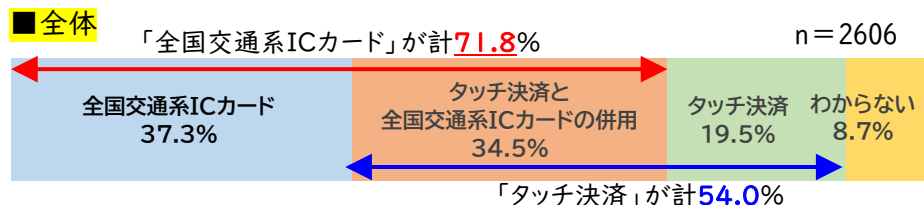


✓市電と県外で異なるカードを利用することが不便という意見

✓JRとの乗継時に異なるカードを利用することが不便という意見

利用者は、事業者や地域を限定せず、複数事業者や全国で利用することを想定したうえで、統一された支払い方法を望んでいる

③ 熊本市電における決済手段として、タッチ決済と全国交通系ICカードのどちらを利用できる方がよいか

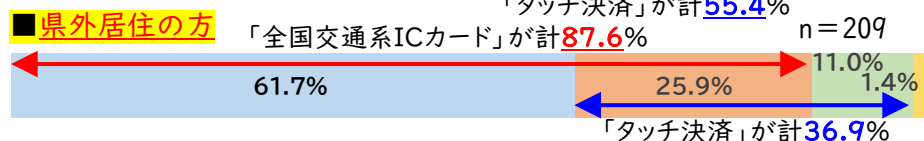
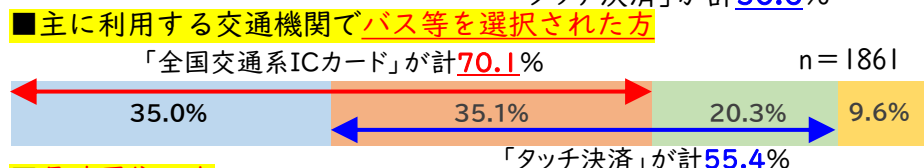
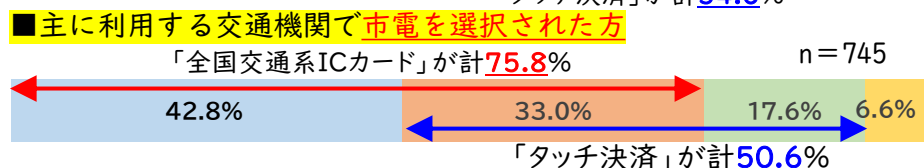


✓ 全国交通系ICカードを望む声が多い

✓市電利用者だけではなく、全国交通系ICカードが終了したバス等の利用者も、タッチ決済よりも全国交通系ICカードの利用を望む声が多い

✓また、県外居住の方は、全国交通系ICカードを望む声が非常に多い

✓一方で、「タッチ決済と全国交通系ICカードの併用」及び「タッチ決済」との回答も半数以上であった



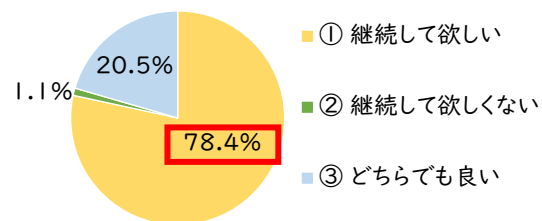
・市電は令和5年4月にタッチ決済を本格導入し、バスは令和7年2月末に導入した

・これまでの間、タッチ決済の便利さに触れていただいたことで、一定の認知を得ると同時に、ニーズが高まっていると思料

(2) 乗務員アンケート【回答受付数：88件】

① 全国交通系ICカードを継続して欲しいか？

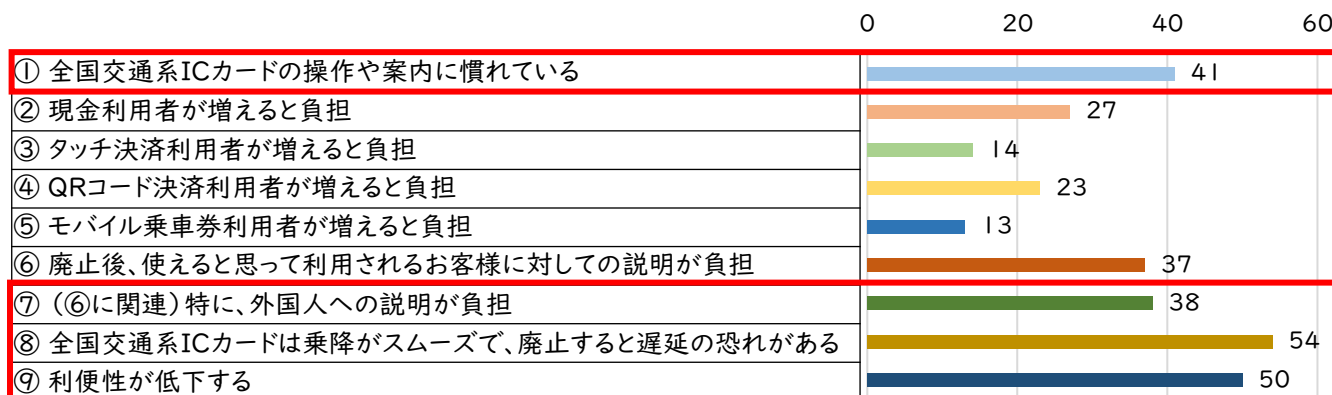
回答項目	回答数	割合(%)
① 継続して欲しい	69	78.4
② 継続して欲しくない	1	1.1
③ どちらでも良い	18	20.5



✓ 多くの乗務員が継続を希望していることが分かった

✓ 一方、約20%が「どちらでも良い」と回答（「負担感は変わらない」との意見が多かった）

② 継続して欲しい理由は？(複数回答可)



✓ 「遅延の恐れ」や「慣れているから」などの理由は廃止に対する不安感であると思料

✓ 「利便性低下」は、お客様と接する乗務員だからこそ強く感じているものと思料

✓ また、「お客様への廃止の説明が負担」との回答も多く、特に外国人への説明を負担と感じている乗務員が多い

（参考）外国人の運賃支払い方法に関するアンケート

✓市電を利用した外国人観光客を対象に、運賃の支払い方法を調査

外国人へのアンケート

熊本市電（路面電車）の運賃は何で支払いますか？

n=40

回答項目	回答数
現金	8
クレジットカードのタッチ決済	5
全国交通系ICカード	12
くまモンのICカード	4
QRコード決済	0
1日乗車券	11
その他	0

✓全国交通系ICカードが最も多く、次いで1日乗車券が多かった

✓全国交通系ICカードを選んだ理由は、「利用方法が簡単」「日本での移動（観光）に便利」との回答が多かった

✓また、乗務員に対しても外国人観光客についてアンケート調査を実施

乗務員アンケート

外国人はどの支払い方法を利用しているか

（データではなく、乗務員が車内で確認している中で最も多いと感じている支払い方法を質問したもの）

✓乗務員は、外国人観光客の多くが全国交通系ICカードを利用していると感じている

✓全国交通系ICカードの中でも、モバイルSuicaなどのモバイル決済が多いと感じている

3 まとめ

✓再精査費用及びアンケート結果等を整理

費用面		✓ パターン①と②の金額差は約1,000万円まで縮小
利便性	市電利用者	✓ 「決済手段を市電と県外で統一したい」「全国交通系ICカードが廃止されるとJRとの乗り継ぎに利用中のため不便になる」など、 <u>全国交通系ICカードの継続を望む声が多かった</u>
	県外居住者（観光客等）	✓ 観光客や出張者が多く利用する市電においては、公共交通手段の決済手段として全国的に最も普及する <u>全国交通系ICカードの利用継続を望む声が多かった</u>
	外国人観光客	✓ 外国人観光客は、 <u>全国交通系ICカード利用が最も多かった</u> ✓ 熊本だけでなく、数カ所の都道府県を観光することが多いと思われるため、 <u>他地域と統一の決済方法を利用できる環境が望ましい</u>
	バス等との連携施策	✓ パターン①では、タッチ決済及びQRコードでの連携が可能 ✓ 現状の共通定期へ参画できるのは、パターン②及び③
安全面 ※安全の再構築を最優先する 交通局にとって重要な観点		✓ 乗務員は、 <u>廃止に対する不安や負担を感じている</u> ✓ 乗務員が <u>安心し、負担なく、より運転業務に専念できる環境</u> が望ましい

これらの状況と本日のご意見を踏まえ、年内に方針を決定する